

# 事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 2 月 19 日 更新

事務事業名		特産品地域ブランド推進協議会運営活動支援事業（農商工連携推進事業に統合）					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連		<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連		<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合 計画 体系	政策	6	産業の健康					所属部	産業振興部	課長名	松田 勝	
	施策	26	農業の振興					所属課	商工振興課	担当者名	末永 舞	
	施策の柱	71	関係機関との連携の強化					所属班	農商工連携班	(内線)	5216	
予算科目	会計一般	款7 項1 項目1 事業連番11316	根拠法令									
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了		<input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返	(開始年度～18年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

## ★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	【開始した背景・きっかけ】 H19年5月に財団法人くまもとテクノ産業財団の「イカレステム」センターが西合志市役所に設置され、その活動の中から合志市の物産をブランド化する活動に発展した。 H26年度より、合志市特産品地域ブランド推進協議会の事務局を「クラッシャーノコウシ」へ移し、事業の専門性を高めている。 【事業局事業の内容】（一社クラッシャーノコウシ） 合志市特産品地域ブランド推進協議会の企画運営、会議の進行・記録・報酬等の支払 認証の対象となる商品の調査 合志ブランド認証品の生産者及び合志のうまかもん店に登録された店舗との連携 【市】 事務局と連携し、ブランド推進委員等の委嘱事務を行う
【業務の流れ】	負担金・補助金交付 ブランド推進委員等の委嘱事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	ブランド認証品を合志市内外にさらに広く知ってもらい、合志市の知名度向上にもつながるよう、事務局であるクラッシャーノコウシと連携していくべきである。ブランド推進協議会設立から一定年経過していることから、事業の見直しを含めた今後の方向性を検討する必要がある。

## 1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分 31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	クラッシャーノコウシの運営体系の変更及び協議会の在り方見直しに伴い、ブランド推進協議会の事務局は市へ置き、協議会の活動内容も見直す計画である。
ブランド推進協議会活動支援補助金の交付を行った。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)予算の主な増減の理由
ア協議会の開催回数	回
イ専門部会の開催回数	回
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内農家、市内商工業者、市内消費者、市産農産物等(加工品含む)	ア認証対象の生産者 イ認証対象の産物等数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)成果指標(意図の達成度を表す指標)
物産等を「合志ブランド」として認証する	ア認証した物産数 イ
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠 合志ブランドとして認証した物産等が増えることで、意図の成果がわかる。	総トータルコスト 全体計画 ～年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア回		回	3	2	2	0	0			
	イ回		回	3	1	0	0	0			
② 対象指標	ア者		者	16	25	20	27	0			
	イ件		件	24	22	30	22	0			
③ 成果指標	ア件		件	24	22	30	22	0			
	イ										
投	事	業	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円							
			(A) 事業費計	千円	2,274	2,043					
			(A)のうち指定経費	千円	74	53	0	0			
			(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0			
入	費	人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人時間	3	3	0	1	0		
			(B) 人件費計	千円	0	1,345	0	39	0		
			トータルコスト(A)+(B)	千円	2,274	3,388	0	39	0		

合志市

事務事業名	特産品地域ブランド推進協議会運営活動支援事業（農商工連携推進事業に統合）	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	--------------------------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (C H E C K)

\* 原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した 合志市のブランド認証品の知名度があまり向上していない。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】 協議会及びブランド認証制度について協議し、見直しを図った。新たに改正した要綱の基、活性化を図る。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 組織及び内容の見直しを図ることで向上余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】 組織等見直しを図り効率化する。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 協議会運営及び事業内容を見直すことで削減ができる。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 協議会事務局を委託先のクラッシャーノこうしから市へ移したため、職員人件費の削減は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 市内の産業を育てる取組であり公平であるが、直接的な受益は事業者等に及ぶので、協議会運営へ、何らかの負担を求める必要がある。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 平成26年度よりブランド認証・物販についてもクラッシャーノこうしが運営していたが、クラッシャーノこうしの運営方針の転換により、本年度より市が事務局を担うこととなつた。これが役割分担の適正化かどうかは今後も協議が必要と考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】

## 3 評価結果の総括 (C H E C K)

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

### (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）  
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）  
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

### (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持	○	△
	低下	△	△

### (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策